

令和 8 年度農作物病虫害発生予察注意報第 3 号

令和 8 年 7 月 13 日
山口県病虫害防除所

病虫害名 水稻のトビイロウンカ

1 発生地域 県内全域

2 発生時期 7 月下旬および 8 月下旬（幼虫最盛期）

3 発生程度 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯における誘殺数（3 か所、5 月 21 日～7 月 7 日）は 19 頭（平年 1.2 頭）であり、過去 10 年で最も多かった（図 1）。誘殺は 7 月 5 日と 6 日に集中しており、セジロウンカと共に全県的に多数飛来したと考えられる（表 1）。
- (2) 水田に設置した黄色粘着板の調査および巡回調査の本田すくい取り調査の結果、および山口県へのウンカ飛来予測から、主要な飛来日は 6/20（少飛来）、7/1（少飛来）、7/5（多飛来）と複数回飛来したと考えられる（図 2）。
- (3) 福岡管区地方気象台の 7 月 9 日発表の一か月予報によると、気温は高く、増殖に好適な状況が続くと予想される。

5 防除方法

トリフルメゾピリムやオキサゾスルフィルを含む箱施用剤等を使っていないほ場では、若齢幼虫の発生予測時期（図 2 参照）にはほ場をよく観察し、防除の目安を超える発生を認めたら直ちに防除を実施する。

トリフルメゾピリムやオキサゾスルフィルを含む箱施用剤等を使っているほ場でも、発生予察情報に注意してほ場をよく観察し、出穂前の基幹防除にはウンカに効果のある殺虫剤を加える。

(1) 防除時期（粉剤・液剤）

7 月 23～28 日頃、8 月 20～25 日頃（図 2）

※粒剤で防除を実施する場合は、粉剤・液剤よりも 7 日程度早く散布する。

(2) 防除の目安

7 月下旬～8 月上旬 20 頭／100 株以上（成幼虫数）

8 月中旬以降 5 頭／株以上（成幼虫数）

6 防除上注意すべき事項

- (1) 出穂後は防除効果が劣るので、出穂前の防除を徹底し、薬剤が株元にかかるよう丁寧に散布する。
- (2) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業を実施し、使用基準を遵守する。

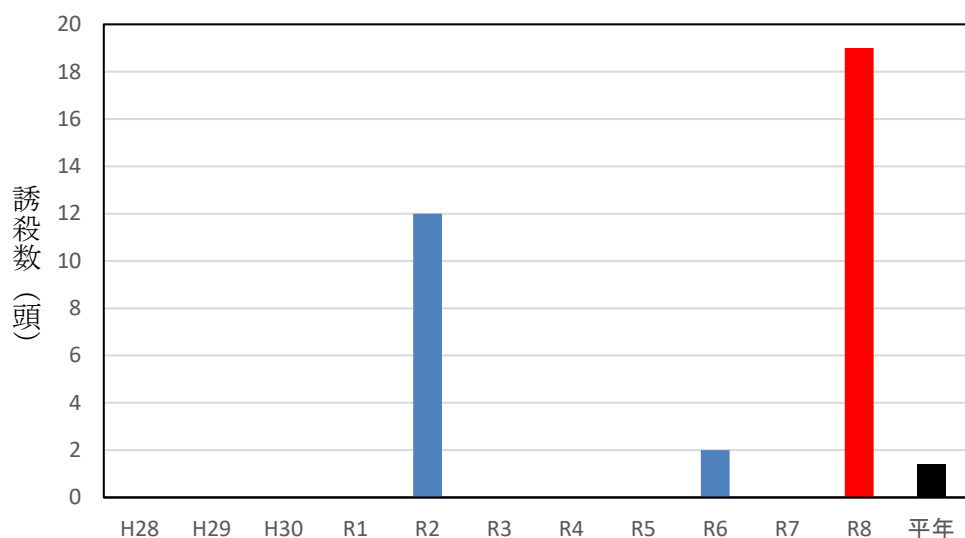


図1 予察灯におけるトビイロウンカ誘殺数の年次比較
(県内3か所、5月21日～7月7日)

表1 予察灯におけるトビイロウンカ、セジロウンカの誘殺状況 (2026年7月1～7日)

調査日	トビイロウンカ				セジロウンカ			
	岩国市	防府市	下関市	萩市	岩国市	防府市	下関市	萩市
7月1日	0	0	0	0	3	14	0	1
7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0
7月3日	0	0	0	0	3	0	0	0
7月4日	0	0	0	0	0	2	81	1
7月5日	0	0	3	6	21	3	114	135
7月6日	0	2	10	0	21	7	31	8
7月7日	0	0	0	0	4	0	1	3

トビイロウンカ		JPPネット有効積算温度シミュレーション											
		7月					8月						
飛来日	飛来量	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	
6月20日	少	卵	第1世代幼虫	第1世代成虫	卵	第2世代幼虫	第2世代成虫	卵					
		飛来成虫	卵	第1世代幼虫	第1世代成虫	卵	第2世代幼虫	第2世代成虫					
7月1日	少												
7月5日	多	飛来成虫	卵	第1世代幼虫	第1世代成虫	卵	第2世代幼虫						
: 防除適期													

図2 トビイロウンカの防除適期予測図 (予測日: 7月13日)



写真1 長翅型成虫



写真2 短翅型成虫



写真3 幼虫



写真4 株元に群がる幼虫

※少数のセジロウンカ幼虫が混在